再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：都市・地域整備局街路交通施設課
担当課長名：松井　直人

事業名	都市計画道路　鬼高若宮線（おにたかわかみやせん）	事業区分	街路	事業主体	千葉県
起終点	自：市川市鬼越（いちかわしおにごえ）１丁目　～　至：市川市中山（いちかわしなかやま）１丁目			延長	0.5km

事業概要

本路線は、市川市と鎌ヶ谷市を結ぶ幹線道路であり、京成本線との踏切による遮断は1時間最大で29分となり、渋滞が激しく円滑な交通の流れを阻害している。本路線は通学路に指定されている区間もあり、歩道がなく大型車が多いため、歩行者の通行が危険な状況である。

本事業は京成本線との立体化により踏切を除却し、交通の円滑化及び自動車・歩行者の安全確保を図るものである。

H11年度事業化	S39年度都市計画決定（H11年度変更）	H12年度用地着手	H　　年度工事着手

全体事業費	72億円	事業進捗率	52%	供用済延長	0km
計画交通量	14,600台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 3.4 (残事業) 10.5	23 / 73 億円 事業費：23/72億円 維持管理費：0.34/0.34億円	246/246億円 走行時間短縮便益：231/231億円 走行経費減少便益：12/ 12億円 交通事故減少便益：3.4/3.4億円	平成20年

感度分析の結果

交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。

事業の効果等

踏切除却による渋滞の緩和、通過時間短縮など走行性の向上及び踏切事故の解消、歩道の設置による歩行者の安全性の向上、幅員拡幅による防災機能の向上が期待される。

関係する地方公共団体等の意見

平成11年に地元市長から千葉県知事に対し本事業の要望が出されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

交差している京成鬼越第6号踏切は、平成18･19年度に実施された踏切交通安全実態総点検より抜本対策を要する緊急対策踏切として位置づけられている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業進捗率52%、用地取得率72%となっている。（平成19年度末）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地取得の難航により事業期間が長期化した。

施設の構造や工法の変更等

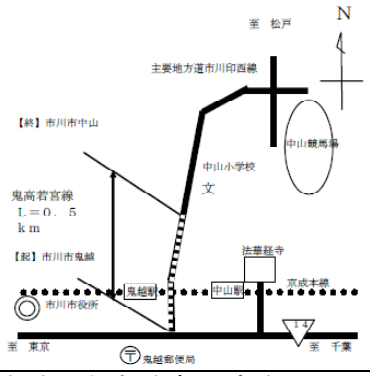
特になし

対応方針	事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。